



ひがしきょうがっこう
山 里

東郷小学校だより

令和7年度9号（通348号）

令和8年1月10日

文責：伊藤 礼輔



↑児童の様子はこちらからご覧ください

令和8年 午年は「成長」と「成功」の年です

あけましておめでとうございます。

今年は雪も少なく穏やかに新年を迎えることができたのではないのでしょうか。

今年が午年です。Webで午年について調べてみると、「成長」と「成功」の年と書いてありました。昨年は本校の創立150周年として、地域・PTAそして学校の教職員・児童が力を合わせて、多くの記念事業を行うことができました。それらの事業を通して、児童たちも普段ではできない体験をたくさんしたことでしょう。その体験が子ども達の「成長」につながり、さらに「成功」をつかみ取っていくことでしょう。

さて、子ども達にとって「成功」とは何を指すのでしょうか。おそらく一人一人が描いている夢や目標を達成することではないのでしょうか。「成功」することは容易ではありませんが、諦めず粘り強く努力を続けてもらいたいと思います。子ども達が「成功」をつかみ取れるように、教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

3学期 始業式での話

明けましておめでとうございます。

今日から、2026年・令和8年が始まります。心を新たに学習に取り組んでいきましょう。

さて、校長先生が2学期の終業式で話をした「冬休みに挑戦してもらいたいこと」は何だったのでしょうか。

そうです、「おうちのお手伝いをする」ことでした。さて、お手伝いをできた人は手をあげてください。たくさんの手があがりましたね。大変うれしく思います。

みなさん今年の干支は何ですか。そうです「午（うま）年」です。

馬は、私たちの生活の中で大きな働きをしてきました。自動車がない時代は馬にまたがって移動していました。

また農耕の場面では、田んぼや畑を耕すときに馬が使われました。

さらに、戦国の世のなかでは馬は戦に欠かせないものとなり、どれだけ力があり速く走れるかで戦の勝敗が左右しました。このように馬は私たちの生活に昔から深くかかわっている生き物です。

ところで馬がついている言葉をいくつか知っていますか。

馬力・馬が合う・難しいことばをあげると「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。これは「人生の幸不幸は予測できないもの 最後まであきらめたり油断したりしない」ということです。

また午（うま）年は「成長」と「成功」の年とされています。いままでの取り組みで成長できた力を存分に発揮し、自分の手で「成功」をつかみ取ってください。

今日から始まる3学期は次の学年の準備期間です。

では、次の学年の準備とは何をすればいいのでしょうか。そうです。今の学年の勉強や活動をやりきることです。今の学年でたくさん勉強して、4月からの新しい学年のスタートに力を蓄えてください。

東郷小学校 校長 伊藤 礼輔